

評価軸・評価の視点(案)に対する事前の意見取りまとめ表

項目名等	意見等	委員名
P3 第3の1の(3) 研究開発成果の最大化に向けた取組	筑波大学では、森林総研の研究者に大学院の連携教員として、活躍いただいている方も多い。そうした活動も評価に加えられないか。	志賀委員
P4 第3の2森林保険業務 (2)加入促進	評価の視点は「加入促進に向けた継続的な取組」でよいと思いますが、評価の指標には端的に「加入増加件数」や「加入増加金額」も入れたほうがよいと思います。	文野委員
P4、P7 第3の2の(3)引受条件と第5の2の(1) の関係(中長期計画の意見と同様)	中長期目標の表現に合わせてそうになっているのだと思うが、第5の2の(3)引受条件や「引受条件の見直しを適切に行っているか」と第5の2の「必要な保険料率の見直し」の関係は、どちらかに言い回しを統一又は調整する必要はないか。	志賀委員
P 5 第 3 の 3 水源林造成事業 (1) イ	評価の視点 3 つめ「事業の効果的・効率的な実施」について。 ○評価指標としてチェックシート活用率を挙げているが、前回林野部会の説明によれば、チェックシート活用率は100%になるのではないか。そういう意味では、重点化率も施業方法の限定化率も100%が自明。 ○中期計画に、コスト削減に向けた取り組みが挙げられている。これに対応する評価指標を設定すべきではないか	田村委員
P 9 第 6 の 5 (1) 人材の育成確保	評価軸に、「研究環境の向上に取り組んでいるか」を加えたらどうか。	田村委員
評価軸全般	物を知らなくて申し訳ないのですが、そもそも 評価指標とモニタリング指標 どのように定義されているのでしょうか？	中山委員
研究開発業務全般	この表には 何をどこまでやる みたいな部分は必要ないのでしょうか？ 論文発表は研究を取りまとめてから論文を書いて査読を受けて発表まで時間がかかりますから、特に単年度の評価の際の“研究成果の発信状況”ではタイムラグを生じると思うのですが。	中山委員